

# 直方市議会議員 やすなが浩之

## 大塚新市長就任後初の議会開催

# 市長所信表明の概要

市民の皆様とともに、共感・共働・共創を基本として、「投資のないところ成長はない」との思いに立ち、投資をいかに呼び込むか、どこに投資をしようのか、民間投資を誘発するためにどうすればよいか、こうしたことを念頭に施策の展開を考えていく必要があると考える。目標とする直方像と施策について、具体的には、直方が元気を取り戻すため、大きくは三つの柱を立てて、取り組んでいく。

「まちを豊かに」→中心市街地を活性化

直方市の特徴は、他の自治体に比べ公共交通の結節点がまちの中心となっていることにある。唯一交通結節点から離れ、連携機能が欠如している筑豊電鉄の延伸について、しっかりと検討していく。そして、中心市街地に必要な機能を再度考えながら、保健福祉センターの駅周辺への立地可能性を早急に探っていく。さらに、本市が持つ文化や芸術といった資源を生かしたまちづくりにも努めていく。また、近年の自然災害の多さに対応する安全安心なまちづくりを行っていく。

「人に夢を」→自己実現可能な地域社会構築

幼児教育の分野では、待機児童対策はもちろんだ、幼稚園や保育園の教育内容を充実させる。義務教育の分野では、低迷する学力を早い段階で県レベルへ引き上げることが目標とし、プログラミング教育や英語教育の充実にも努める。さらに、若者が働く場の提供や起業してもらええる環境整備にも努めていく。また、どの世代でも、性別に関係なく、自分自身の可能性を切り開けるようなシエンター平等の社会実現を図るため、女性活躍がキーワードとなる。子育て世代の負担軽減に取り組み、他の世代においても健康寿命を延ばす取り組みを強化し、自己実現可能な、そして、地域コミュニティがしっかりと機能する社会に向け取り組んでいく。

「産業に活力を」→市民所得の向上

農業にあつては、農産物のブランド化、あるいは六次産業化などを通じて、付加価値の向上を図る。本市の産業の特徴である製造業にあつては、IoT等の先進技術導入を積極的に支援し、先進技術を担う企業誘致を展開していく。さらに、研究開発を支援する機能を補完するため、大学等の誘致の可能性を探っていく。また、課題であった植木地区の開発についても、本市の産業をリードしていく産業立地促進を図るため、整備を進めていく。

## 一般質問



### 【自転車活用推進】

「一般県道直方北九州自転車道線」について、開通時期・新市長の考え、今後の市の取り組み内容を問いました。開通時期は、県事業であるため、「今秋予定」と明確な答弁は無かったものの、一般の自転車ユーザーも含めた利用促進や地域経済の振興を目指し、しっかりと取り組んでいくとの市長答弁に接し、自転車活用の未来を感じることが出来ました。しかしながら、県のイベント等は予定されているものの、市の取り組みはサイクルスタンド設置に留まっている感もあり、更なる取り組みを要望しました。

### 【地域内経済循環】

地域の経済循環構造再構築による地域活性化を目的として、市庁舎の備品調達基準や公共工事の事業者選定基準、そして、中小企業振興条例の内容について、提言を含め質問を行いました。原則的に市内業者中心の発注が行われていることは確認できましたが、意識的・慣例的なものではなく、将来も見据えて条例に明記するといった対応を要望しました。更に、県下先駆けて制定された当市の財産である中小企業振興条例に関しても、必要に応じた改正検討を併せて要望しました。

### 【水路の維持管理】

高齢化や地域コミュニティ弱体化の影響により困難な状況へと変わってきている地域共助の水路清掃管理について、直営浚渫清掃の現状と将来の予測を伺いました。側溝整備や下水道普及に伴い清掃依頼件数は微減しているものの、市直営作業班の人員は減少傾向にあり、業者発注を含めた対応検討を要する可能性があるとの答弁に接し、安定的な清掃管理方法構築を要望しました。

直方市政へのご意見ご要望、お待ちしております。

「議員事務所」

〒822-0022 直方市知古1丁目6番1号

Tel.0949-28-8087 fax.0949-28-8020

※議会終了後、皆様への報告を目的に発行しています。

